

山東島津放射線技術講座を終えて

水田正芳

出張期間： 2019年6月15日～6月23日

2019年6月15日、兼ねてから予定していた中国へと出発しました。前日まで忙しく準備もそこそこに関西空港へ。空港に着くと悪天候のため離陸が6時間後と知り不安を抱えながらの訪中となりました。深夜12時過ぎの到着にもかかわらず、山東医学高等専科学校（以降、山東医専）李教授が温かく迎えてくださいました。日本語が堪能な李先生には学校の案内や授業のサポートなど大変お世話になりました。今回の訪中は、島津山東放射線技術講座の講義を中国山東省済南市にある山東医専で行うためです。当校は学生約1万人のマンモス校で、ほとんどの学生が寮生活をしています。寮では火気使用禁止のため三食を大食堂で食べます。

校内では、大勢の生徒たちの姿にとっても驚きました。快活な会話や笑い声があちこちで響きわたっています。学校の雰囲気は万国共通のようです。講義は朝8時から午前午後にかけて毎日5時間行いました。初日、まずは挨拶。『早上好！』

私の中国語の発音が良かったのでしょうか？学生たちは笑ってくれました。

講義では予め日本から送ったスライドデータを中国語に翻訳された資料が学生に配布されていたので、スライドを見ながらの進行です。学生たちは重要だと思ふ箇所は資料に書き込んだり、私からの質問にも元気よく答えていたので、講義の内容が理解できているようで安心しました。滞在中、山東医専の先生の知り合い方のパーティーにお招きいただきました。中国の富裕層の豪邸です。豪華な料理や地酒をいただきながら、山東省は孔子の生誕地として有名な話や、儒教文化が色濃く残っているとのことで、酒の席での礼儀などを教わり楽しいひと時を過ごしました。今回の中国訪問では、山東医専の学生や先生方と交流し内容の濃い8泊9日でした。実際に中国に来て、中国の方々の温かさを感じ固定観念にとらわれず交流することの大切さを実感しました。

最後に、今回このような機会を与えてくださった本学、島津製作所ならびに山東医専王副校長、李萌教授ほか山東医学高等専科学校関係者の方々に心から感謝と御礼申し上げます。



孔子廟にて



山東医学高等専科学校 正門にて



山東医学高等専科学校 グランド



山東医学高等専科学校 食堂



山東医学高等専科学校 講義